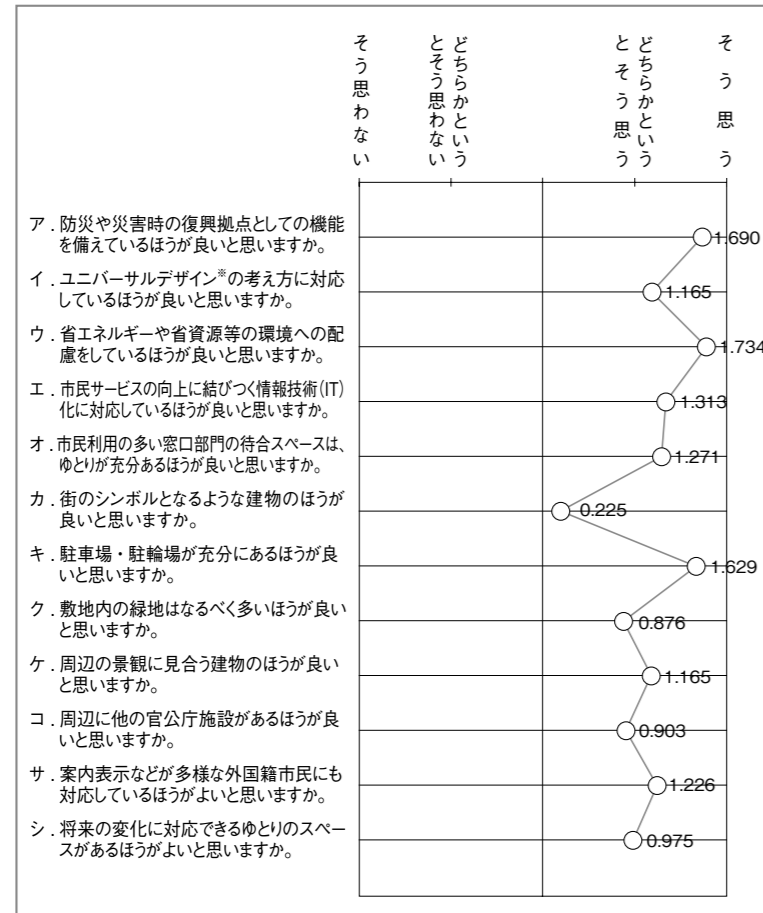




## 質問5 これからの庁舎のあり方についてお伺いします。ア～シの項目ごとに、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つ選んで、数字を○で囲んでください。

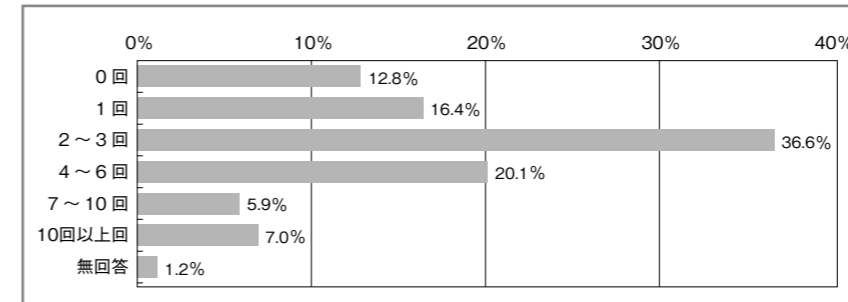
※ア～シの各項目の回答に対して、「そう思う：2点」、「どちらかというと思う：1点」、「どちらかというと思わない：-1点」、「そう思わない：-2点」のポイントを付け、それぞれの項目の平均値を算定。



※ユニバーサルデザイン：人種、性別、年齢、身体的特徴などに関わらずできるだけ多くの人が利用可能であるように、製品、建物、空間をデザインするという考え方

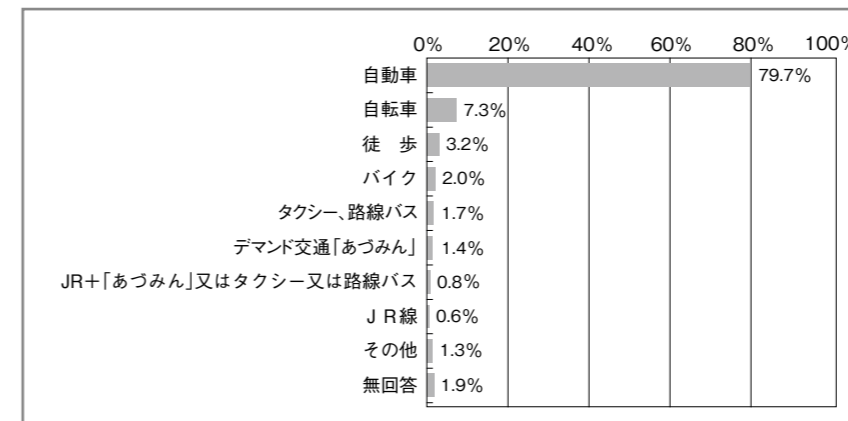
これからの庁舎のあり方の回答を平均値の分布で見ると、「ウ. 省エネルギーや省資源等の環境への配慮をしているほうが良い」が1.734ポイントで最も高く、次いで「ア. 防災や災害時の復興拠点としての機能を備えているほうが良い」が1.690ポイント、「キ. 駐車場・駐輪場が充分にあるほうが良い」が1.629ポイントで上位となっています。「ウ. 省エネルギーや省資源等の環境への配慮をしているほうが良い」と「ア. 防災や災害時の復興拠点としての機能を備えているほうが良い」については、質問4の市庁舎にあるべき機能について重要視することの回答と比較しても「自然環境に配慮した庁舎」(36.8%：3位)、「防災拠点機能」(54.8%：1位)と連動した回答結果となっています。また、「キ. 駐車場・駐輪場が充分にあるほうが良い」については、質問3の本庁舎又は総合支所への交通手段の回答結果で「自動車」利用者が8割であったことと連動した回答結果としてみることができます。一方、「カ. 街のシンボルとなるような建物のほうが良い」については平均値が最も低くなっており、シンボリックな建物とするよりも「ケ. 周辺の景観に見合う建物のほうが良い」という回答が多くなっています。

## 質問2 あなたは市役所の本庁舎または総合支所へこの1年間にどのくらいの頻度で訪れましたか。



回答者の86.0%が1回以上は本庁舎または総合支所を訪れており、1回も訪れていない人は12.8%と少数です。来訪頻度では「2～3回」が36.6%で最も多く、次いで「4～6回」(20.1%)、「1回」(16.4%)の順です。

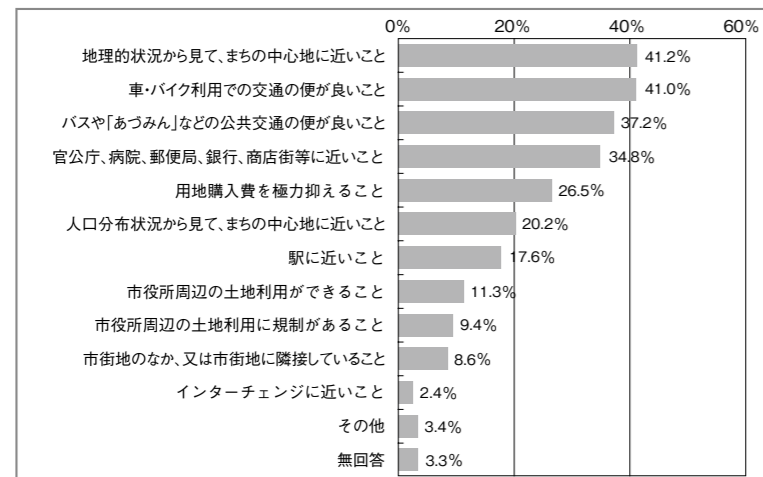
## 質問3 あなたが市役所の本庁舎または総合支所へ訪れるときの交通手段を教えてください。



本庁舎または総合支所への交通手段では、全体の8割(79.7%)が「自動車」を利用しています。一方、鉄道やバス等の公共交通を利用する人の割合は極めて少ない状況です

## 質問6 新たな本庁舎の建設場所について、あなたが重要視することは何ですか。

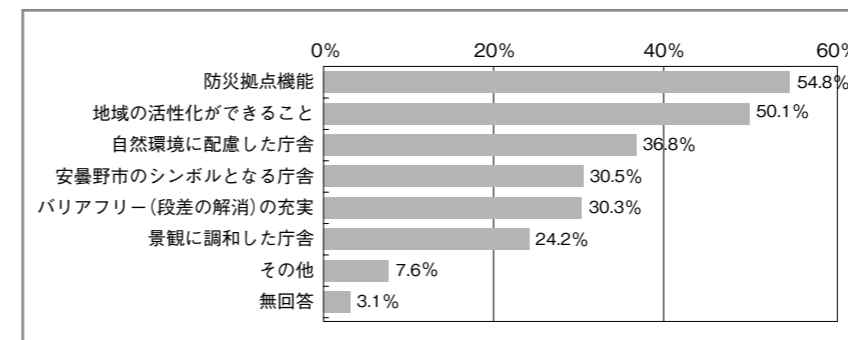
※3つまで選択可



本庁舎の建設場所について重要視することでは、「地理的状況から見て、まちの中心地に近いこと」が41.2%で最も多く、次いで「車・バイク利用での交通の便が良いこと」(41.0%)、「バスや「あづみん」などの公共交通の便が良いこと」(37.2%)が上位の回答となっており、道路アクセスや公共交通の便の良い場所であることを重要視しているようです。

## 質問4 市役所の庁舎にあるべき機能で、あなたが重要視することは何ですか。

※3つまで選択可



市役所にあるべき機能として重要視することでは、「防災拠点機能」が54.8%で最も多く、次いで「地域の活性化ができること」(50.1%)、「自然環境に配慮した庁舎」(36.8%)が上位3回答となっています。